

春陽会会報 (昭和 33 年 10 月 5 日)

(44)

一、供出画の件報告

○供出画は諸氏の御努力により充実した作品が一〇〇%近く集まりましたが、この供出画を集めるのに会報十二号より、多い人は四、五回通知を出しました。この様な事は事務的にも又全員足並みを揃える上で大変な手数です。今後は確実に規定を守って頂きます。

本年度の供出画は一応これで終り、来年度は昭和三十三年度分、三十四年度分をまとめて展覧会終了後提出して頂きますから、予め御承知おき下さい。

○前事務所(南大路一事務所 昭和三十一年九月七日〜三十三年十二月迄)よりの申送り事項として、「作品供出不可能の場合は一ヶ年分として一万五千円を納入の事。供出作品は原則として八号、六号とし、版画部は二枚とする。又右号数提出不可能の場合は十五号、二十号で二ヶ年分とし、三十号を三ヶ年分とする」となっております。又本年度より六十歳以上の方は供出画の提出は任意とします。

二、春陽会三十五周年記念祝賀会のお知らせ

本年度は春陽会創立三十五周年に当り、本展並に各支部展も盛會裡に終了しました。ここに之を記念し併せて新会員、新準会員、新会友

諸氏の歓迎会を兼ねて、左記により祝賀会を催しますので、御家族御同伴の上、万障お繰合せ御出席下さる様お待ち申し上げます。

尚会場準備の都合もあり同封はがきで出欠の有無を十月二十日迄に到着する様洩れなく御返信下さい。

記

○日時 (昭和三十三年)十月二十六日(第四日曜日) 午後五時より

尚、当日は午後一時より 四谷駅前 主婦会館に於て研究会を開催しております。

○会場 日比谷公園 松本楼

○会費 一人 五百円

○余興 吉田謙吉構成演出
尚、御出席皆様の余興も大歓迎致します。

以上

1958 5 October

昭和 33 年 10 月 5 日 春陽会会報（供出画、35 周年記念祝賀会関係）